

# 修羅場・土壇場・正念場

指導者は修羅場、土壇場、正念場の三つの「場」を経ることが、深い人間理解する基本になります。

訓練を通じた経験が、一瞬で本質を見抜くものです。人はなぜ「倫理」「道徳」を守らなければならないのか。なぜ殺人はいけないのか。約束は破っていけないのか。約束は破っていい主体がない場合、あなたはどうしますか。

カミが罰します。日本では年寄りや昔から、お天道様が見ていると論じていたものです。

それぞれの倫理観が、自分の利己的打算、欲望を制御するものですが、立場が異なれば理解できない行動を取られる方もおいでるものです。

あなたは自分の行動を規定する倫理規範がないとき、傍若無人に悪の限りを尽くしますか、何らかの倫理観が悪事を止めてくれますか。

指導者は謙虚と素直が命です。結局、自分を律するのは自身です。理屈は、どのよう

にでも付けられます。当事務所の民事訴訟でも、被告人は、昨年八月八日の名古屋高等裁判所（二審）判決に不服。同年九月に最高裁判所に上告しま

したが、先月9月19日棄却で判決が確定した。水に波動があるがごとく、空に風



## 県知事5選に益なし

が起きるがごとく、自然的逆境か人為的逆境か、天の制裁があるのが常です。三年前の一致が、津波とフクシマ原発メルトダウンです。天命と自覚するならば、迅速に道理を尽くす道しかないのですが、当事者は未だ使命を全く果たしていないのです。

同じところに達するのに、最小の労力を持つて最大の効果を収める道と、困難な道を通つても行ける道があるならば、自ら選んで難関を通つてきた。

到達点よりさらに先に進むとすると、次の難関も容易に乗り越えることができる。最小労力、最大効果の原理は「物の国」の考え方であつて、人を重んずる「人の国」では人を養成することが大切だから、努めて難関を歩

## 労働者管理

先月中旬、ある信金の「間違いやすい労働者管理トラブルへの対応」セミナーに参加してきました。

労働者からのサービス残業の支払い請求問題です。地元弁護士は労働債権は2年で時効、遅延損害金は14.6%とのこと。弱者労働者サイドのセミナーでなく、支払い請求問題の発生原因の本質には踏み込まず、言質や証

拠を残さないことの優先です。視点は対立の予防でなく、労働組合の特徴と性格に触れ、労使対立を必然視する姿勢に見受けられました。

まず専門家に相談と、「ブラック」擁護、欲望優先セミナーの感が強く残りました。

弁護士・税理士の繁盛は、悪い国でしょう。

未だ労働者と共生は程遠い社会です。



## 困難な道より入る

かりされて、自分を守つてくれる人はいない。自分のことは自分でやらないと、頼るものは金と物。結局拝金の唯物対立思想になる。奴隷制度とキリスト教は切り離せない。捕虜は奴隷



(有)西川経営オフィスサービス  
**中村会計**  
**事務所便り**  
 2013年10月15日(火) NO 317  
 地域から明るい未来を作ろう